

会社概要

(2020年6月20日現在)

社名 太洋工業株式会社  
 設立 1960年12月  
 代表者 代表取締役社長 細江 美則  
 資本金 807,272,100円  
 従業員 267名(連結ベース)  
 関連グループ 株式会社ミラック  
 会社 TAIYO TECHNOLEX (THAILAND) CO., LTD.  
 マイクロエンジニアリング株式会社  
 太友(上海)貿易有限公司

役員

(2020年6月20日現在)

代表取締役社長 細江 美則  
 取締役 坂田 吉啓  
 取締役 堀井 健司  
 取締役 上西 令子  
 常勤監査役 崎前 和夫  
 監査役 和中 修二  
 監査役 中川 利彦  
 執行役員 清原 旭  
 執行役員 田中 清孝  
 執行役員 水谷 浩

株式の概要

株式の状況

(2020年6月20日現在)

発行可能株式総数 ----- 23,280,000株  
 発行済株式の総数 ----- 5,910,100株  
 株主数 ----- 2,227名

大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
株式会社細江ホールディングス	1,600	27.1
細江 美則	494	8.4
細江 正大	480	8.1
紀陽興産株式会社	390	6.6
株式会社紀陽銀行	290	4.9
太洋工業従業員持株会	235	4.0
小川 由晃	136	2.3
旭東ホールディングス株式会社	93	1.6
前尾 和男	74	1.3
株式会社南都銀行	50	0.8
日本生命保険相互会社	50	0.8

(注) 持株数は、表示単位未満の端数を切り捨てて表示、また持株比率は、自己株式を控除して計算しており、小数第二位を四捨五入して表示しています。

株主メモ

事業年度 毎年12月21日から翌年12月20日まで  
 期末配当金受領株主確定日 毎年12月20日  
 中間配当金受領株主確定日 毎年 6月20日  
 定時株主総会 毎年 3月20日まで  
 株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社  
 特別口座の口座管理機関  
 同 連 絡 先 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部  
 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号  
 TEL(0120)094-777(通話料無料)  
 上場証券取引所 東京証券取引所JASDAQ(スタンダード)  
 (証券コード6663)  
 公告の方法 電子公告により行います。  
 公告掲載URL  
<http://www.taiyo-xelcom.co.jp/>  
 (ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載いたします。)

(ご注意)

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に登録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国本支店でもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

TAIYO INDUSTRIAL CO.,LTD.

〒640-8390 和歌山市有本661番地  
 TEL(073)431-6311(代) FAX(073)432-5469



ご挨拶

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

当第2四半期連結累計期間におきましては、売上高はテストシステム事業及び電子基板事業において販売が減少したことから、前年同四半期に比べ減収となりました。損益はテストシステム事業及び電子基板事業における売上高減少に伴う影響や、売上総利益率が低下したこと及び新型コロナウイルス感染症拡大の影響を主要因とする業績動向を踏まえ、減損損失を計上したこと等により、損失となりました。

また、同感染症の影響については、緊急事態宣言が解除され、経済活動の再開に伴い当社グループの製品に対する需要は徐々に回復していくものと仮定しておりますが、依然として不透明な状況が続いており、第3四半期以降の業績は厳しい状況が想定されることから、通期の業績予想を修正させていただくこととなりました。

第3四半期以降につきましては、引き続き、FPC(フレキシブルプリント配線板)の車載用、医療機器用及び科学機器用分野へのシフトを進め、従来の試作製造に留まらず、小・中ロットの量産まで一気通貫で対応する戦略を拡大してまいります。また、自動化・省力化ニーズの増加を背景にして、競争力のあるAI搭載等の高付加価値製品のラインアップ拡充を図り、ユーザー層を更に広げてまいります。

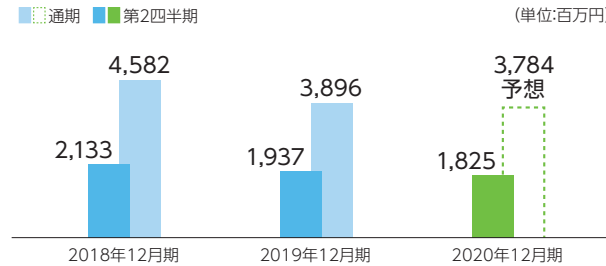
株主の皆様には、今後とも当社グループの事業活動にご期待いただき、引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役社長

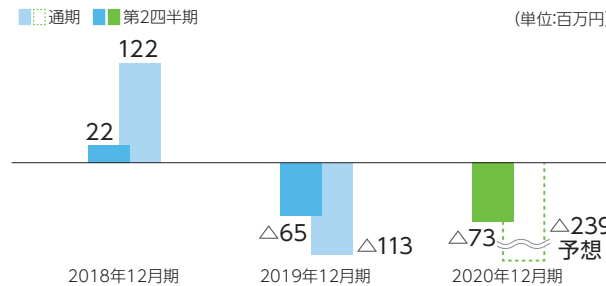
高田 美則



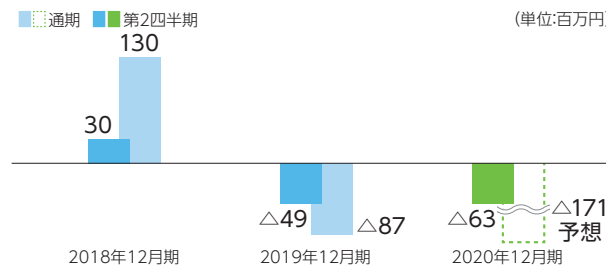
売上高



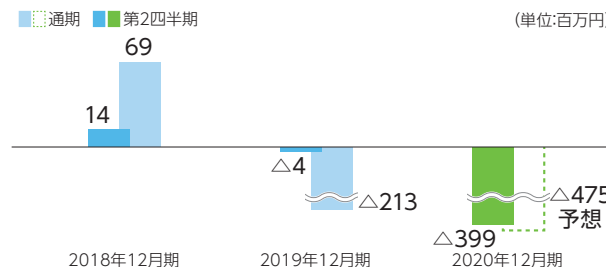
営業利益



経常利益



親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益



最終外観検査機用AIシステムを開発

プリント配線板の高密度化、微細化が進む中、製造現場での高い検査品質と徹底した省力化の要求に応えるため、欠陥検出時の誤検出(虚報)を判別・除去することで確認システムに出力する確認数を低減させ、検査にかかるトータルコストの削減及びより高次元での欠陥検出を可能とする最終外観検査機用のAIシステム「TY-VISION XAIS」を開発しました。

■ AIデータ構築のイメージ



■ AIシステム導入効果のイメージ



高耐熱高柔軟プリント配線板を開発

伸縮性に加え、耐熱性にも優れた、透明でデザインの自由度の高い高耐熱高柔軟プリント配線板を開発しました。柔軟性に優れ、プリント配線板自体が伸縮する、いわゆるストレッチャブルプリント配線板は、医療及びヘルスケア等の分野におけるバイタルデータ取得用ウェアラブル端末や自動車のシートセンサ、折りたたみディスプレイやバッテリーなど、新しいエレクトロニクス用途で注目されています。

